

番号	分野別	資料の概要
29	スケジュール	最近の不調事例（庁舎整備）及び不調を防止する対策

1 最近の不調事例

平成 25 年の市庁舎整備における公共工事の入札不調は、

- ・ 酒田市の新市庁舎建築工事
- ・ 呉市新庁舎建設工事
- ・ 秋田市の市庁舎建築工事 など全国的に相次いでいます。

なお、本市においても、WTO 政府調達協定対象工事である

「金沢区総合庁舎改築工事（第 1 工区建築工事）」（平成 25 年 11 月 21 日開札）が不調となったことをはじめ、今年度 12 月末日までに 32 件の建築工事が不調となりました。

2 不調を防止する対策

本年度の不調事例を見ると、最も多いものが「応札者がなかったことによるもの」で、次に「全入札者が最低制限価格を下回ったもの」で、「予定価格を超過したもの」は件数が一番少ない状況です。

「応札者がいなかったもの」の理由としては、監理技術者が不足しているためと考えられ、その中には東日本大震災の復興工事に技術者を振り向けた企業もあるようです。ほとんどの中小企業はもともとの技術者数が少ないことに加え、消費税アップ前の駆け込み需要で民間工事が増え、そちらに人員を配置しているとの事情もあるようです。

設計・施工一括方式の場合には、早い段階から設計と施工を担う事業者を決定できるため、技術者不足や労務費・資材費の高騰による入札不調リスクは、従来方式に比べて軽減できると考えております。